

在日本韓国YMCA、東京センテニアルYサービスクラブ共催

第3回

オリーブ平和映画祭

Olive Peace Film Festival

Korean YMCA in Japan and TOKYO Centennial Y Service Club



在日本韓国YMCAは、パレスチナの東エルサレムYMCAと相互交流を進めています。

パレスチナの地に暮らす人々の現状に触れ、理解を深め、共感の場を広げたい——

このような思いから、東京センテニアルYサービスクラブとの共催で企画されたのが「オリーブ平和映画祭」です。

5/14 **土** 第1回 11:00~13:40
第2回 15:00~17:40

一般 1000円 学生 500円 高校生以下無料

上映作品 『沈黙を破る』

2009年 / 日本 / 130分 / 監督・撮影・編集：土井敏邦 / 制作・配給：シグロ

※作品上映前に、東エルサレムYMCAとパレスチナYMCAとパレスチナYWCAが共同で組織するJAI (Joint Advocacy Initiative) の「オリーブ植樹プログラム」、「オリーブ収穫プログラム」を紹介するビデオ上映をおこないます。

※会場ではパレスチナのハーブやオリーブオイルの試食や、パレスチナの写真展示をおこないます。

考えるのをやめたとき僕は怪物になった

一人々の生活から見える“占領という構造的な暴力”の構図

2002年春、イスラエル軍のバラータ難民キャンプ包囲とジェニン難民キャンプ侵襲が起きた同じ頃、イスラエルの元将兵たちが「沈黙を破る」という写真展をテルアビブで開いた。その写真展は、“世界一道德的”な軍隊として占領地に送られた元兵士たちが、自らの加害行為を告白するものだった。占領地で絶対的な権力を手にし、次第に人間性や倫理、道徳心を失い、“怪物”となっていく若者たち。彼らは、自らの人間性の回復を求めつつ、占領によって病んでいく祖国イスラエルの蘇生へと考えを深め、声を上げたのだ。

時に絶望的に見える抑圧をしたたかに生き抜くパレスチナの人びと、そして、「祖国への裏切り」という非難に耐えながらも発言を続けるユダヤ人の若者たちの肉声は、「パレスチナ・イスラエル問題」という枠を越え、人間の普遍的なテーマに重層的に迫る。

会場 在日本韓国YMCA

TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633

東京都千代田区猿楽町2-5-5

JR水道橋駅徒歩5分 JR御茶ノ水駅徒歩8分

地下鉄神保町駅徒歩7分

e-mail ayc@ymcajapan.org

<http://www.ymcajapan.org/ayc/>

東エルサレムYMCAと在日本韓国YMCAの交流紹介のページ
<http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/palestine/>

